77世 防蟻システム アリダン 既 築 用

新築 5年~10年 経過

事前点検 シロアリによる 蟻害確認

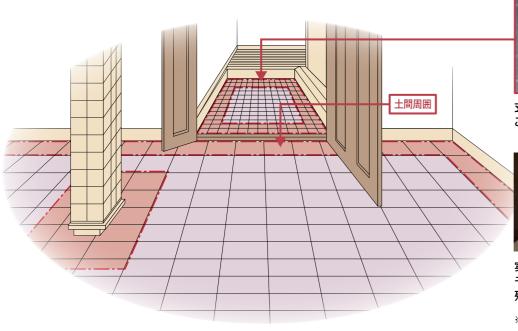
保証延長 工事

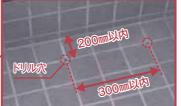
保証書発行



▶ 工事内容における注意点

前記に記した施工の他に、玄関土間・勝手口土間・ポーチ土間への薬剤の穿孔注入を 行います。なお、この作業は下図の赤いエリアのタイル目地などに穴を開け、そこに薬 剤を注入するものです。その後、この穴をモルタルなどでしっかり塞ぎますので、薬剤は 飛散しません。





玄関土間やポーチ土間に穿孔(せん こう)する工事を行います。



穿孔後に薬剤を注入し、その後、穴を モルタルなどで埋め直して穿孔跡が 残らないように処理します。

※タイル目地幅が5mmに達していない場合に は、別途の処理を行わせていただきます。

■仕様部材

呼 称	形状	形態	成 分
アリダンA剤TN20※オレンジ色		ロンテナー20kg入り(液状) ※希釈済	ワックス成分(樹脂分混入) 防蟻薬剤 イミダクロプリド
アリダンペーストTN35L※オレンジ色		ポリ缶3.5kg入り(液状) ※希釈済	アクリル樹脂(エマルジョン) 防蟻薬剤 シラフルオフェン イミダクロプリド
アリダンG剤TN10C※無色透明		ロンテナー10kg入り(液状) ※希釈済	水 乳化剤 防蟻薬剤 イミダクロプリド

●掲載の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。/ ●商品色は印刷により実際の色とは異なって見える場合があります。



本社/福井市三十八社町33-66 ☎(0776)38-8013 〒918-8585 東京☎(03)5742-6301 大阪☎(06)6386-6950 名古屋☎(052)855-2332 東関東 ☎ (029)841-7611 西東京 ☎ (042)529-3911

札 幌 🗗 (011)896-7500 盛 岡 🗗 (019)654-7511 宇都宮 🏗 (028)636-3521 神奈川 ☎ (045)470-1050

北関東 ☎ (048)661-0400 新 潟 ☎ (025)241-7832 都 ☎ (075)662-2315 松 ☎ (087)822-2301 縄 ☎ 090-1943-2112

https://www.fukuvi.co.jp

KC561 2018.08 RB

FUKUVI

信頼のある「アリダン工法」が あらゆる物件で対応可能になりました!!









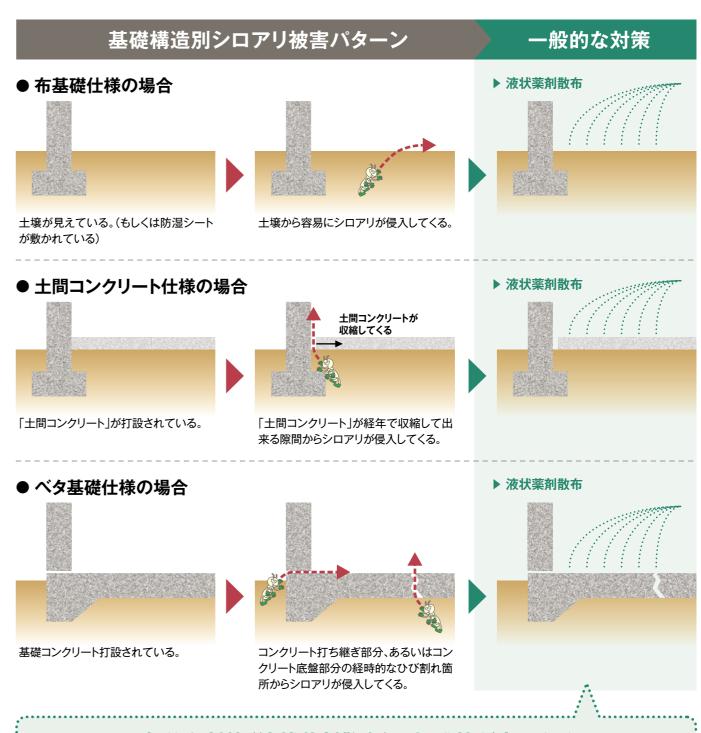
(アリダンペースト工法)

放置する期間が長ければ長いほ シロアリ被害のリスクは高まりますは 保証満了日からの経過年数別被害発生率 (防蟻処理保証切れで、再施工せず、一定期間経過(放置)した物件) 保証満了日からの経過年数 築年数が経過すればするほどシロアリ被害の リスクは増加します。 保証満了以後10年も経過すれば、被害発生 率は10%近くに達し、さらに10年経過後には 50%近くに達しています。蟻害の再発防止に は、継続した防蟻工事が求められます。

被害発生率(%)

※ 出典:日本長期住宅メンテナンス有限責任事業組合

ら5年~10年経過し、防蟻保証が切れていませんか



一般的な対策(液状薬剤散布)は揮発性が高いため、 人体に対する影響や防蟻効果の減少が早いという問題点があります。

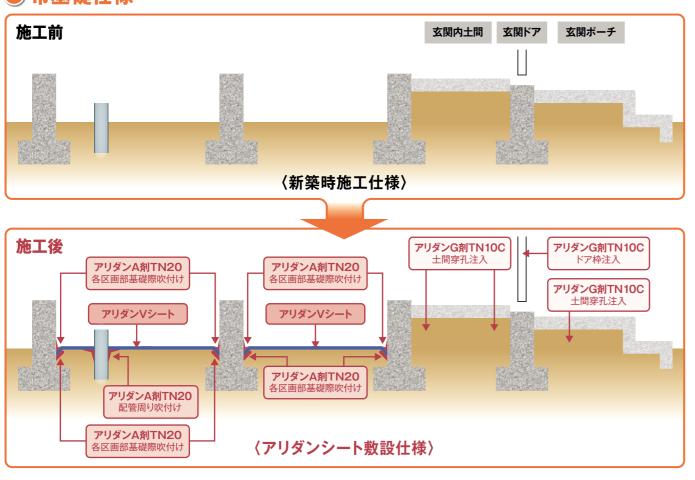
フクビのシート工法、ペースト工法は長期間防蟻効果を持続できます。 また、人体にも極めて優しい防蟻工法です。 布基礎

アリグンシート敷設に法

露出している土壌をアリダンシートで覆い隠します。 あるいは、古くてバリバリに劣化している防湿シートを撤去し、アリダンシートで覆い隠します。



●布基礎仕様



「アリダンシート」とは 35年の歴史をもつ信頼のある 防蟻シートです。

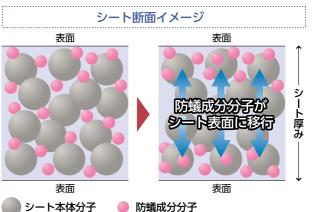


アリダンシートの防蟻メカニズム

シート本体分子と防蟻成分分子が、互いに「相溶性」というな じみやすい性質を有しながらも、水と油のように反発しあって いるので、防蟻成分分子がシート表面側へ追いやられるよう な挙動が起こる。

その結果、防蟻成分分子はゆっくりとシート表面に移行していき、シート表面で防蟻効果を発揮する。

シート表面の防蟻成分分子は次々にシート内部から表面へと 移行していくので、長期にわたり防蟻効果が維持される。



湿気対策が大事

「アリダンシート」により、 土壌からの湿気も防止することができます。

木造在来工法 築年数別 木材腐朽発生率

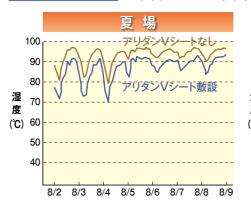
築年数	木造在来工法
0-4	1.0%
5-9	0.4%
10-14	2.3%
15-19	8.5%
20-24	12.0%
25-29	11.8%
30-34	13.6%
35-39	15.2%

在来工法の場合、築15年以上経過する と被害発生率は急増している。

※ 出典:日本長期住宅メンテナンス有限責任事業組合

土壌面からの湿気の流入を防ぐ(防湿性)

試験小屋での 湿度変化の比較 住宅の床下を想定した試験小屋(各区画2m×2m)で、土壌面にアリダンVシートを敷設した場合と敷設していない場合の湿度(中央の地表面から25cmの位置)を測定。





木材が湿気によって腐朽すると、シロアリを誘引する物質が発生することが解明されています。つまり防蟻と防湿は深い関連性を持っていて、建物にはこの二つの処理が同時に行われていることが望ましいわけです。住宅を長持ちさせるためには、アリダンシートを用いて、防蟻と防湿を同時に行うのが効果的です。





土間 コンクリート ベタ基礎

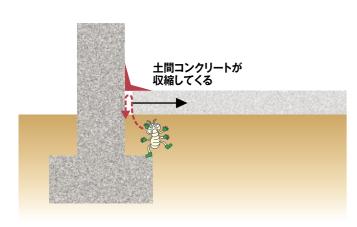
コンクリート収縮が生じる(隙間が生じやすい)部分にアリダンペーストを塗布します。 樹脂膜を形成し、この層がしっかりとシロアリから住宅をプロテクトします。



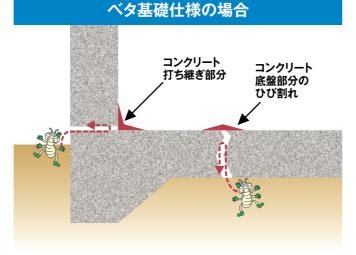


シロアリはコンクリート のわずかな隙間を探し て侵入してきます。隙 間にアリダンペースト を塗布することで隙間 を埋めシロアリの侵入 を防ぎます。

土間コンクリート仕様の場合



経年収縮した土間コンクリートの隙間から侵入してくるシロア リをブロック。



コンクリート打ち継ぎ部分やコンクリート底盤部分の経時的な ひび割れ箇所から侵入してくるシロアリをブロック。

■薬剤成分揮散濃度の比較

一般的な住宅の床下で防蟻再施工を実際に行った際の 薬剤揮散濃度(シラフルオフェン、イミダクロプリド)を測定

● 床下空間における薬剤揮散濃度(施工開始から2時間捕集)

 $0.16 \mu g/L$

シラフルオフェン、イミダクロブリドともに 0.004μg/L未満 **検査限界値 薬剤揮散濃度が極めて小さく、安全性が高い

※薬剤散布には有効成分イミダクロプリドのみを含有した製品を使用

アリダン防蟻再施工は、 従来の薬剤全面散布に比べて



約1/3~1/10



約1/2~1/5



■製品使用量の比較

床面積約77㎡で防蟻再施工を行った場合の床下での製品使用量の比較

従来の薬剤全面散布 約240kg (薬剤有効成分240g)

アリダン防蟻再施工 約23kg (薬剤有効成分132g)※アリダンペーストTN35Lの場合

アリダンペースト TN35L

■ 有効成分:シラフルオフェン イミダクロプリド

■ 外観: オレンジ色ペースト状 ■用途:基礎際塗布用 防蟻ペースト剤

■ 危険物区分: 非危険物 ■毒劇物区分:普通物

ペースト剤をシート状約 2mm厚に成形し、試験を 行ったところ、貫通され ず、優れた防蟻効果を 発揮しました。

アリダンペースト剤の

効力試験結果

試験方法

JWPAS-TS-S

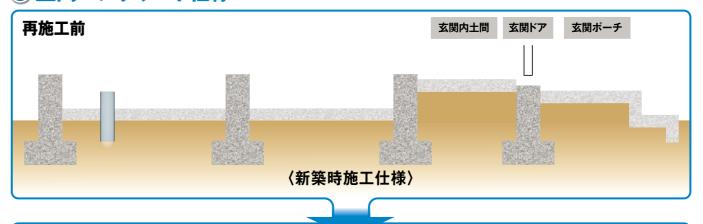
(貫通試験)

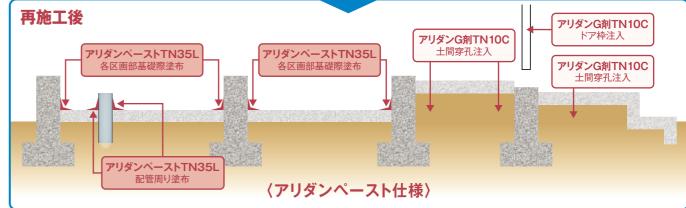
試験機関

財団法人

建築研究協会

●土間コンクリート仕様





●ベタ基礎仕様

